

さとやま通信

sa to ya ma つう しん

<Vol.84>

～「学研木津北地区」というのは鹿背山の里山のこと

里山活動を楽しみながら、里山再生に取り組んでいます～

竹林の侵食

鹿背山の里山を見上げると、山の高い位置まで竹林が侵食しているのが分かります。かつては人の手が入った薪炭の森でしたが、化石燃料への移行や山林を管理する担い手の高齢化などにより山が放置され、竹林が侵食してきました。

竹は成長に多くの光を必要とせず、森林に侵入すると密生して他の樹木の生育を遮ってしまいます。また、数日間という短期間で10m近くに成長するので、竹が侵入した雑木林では、背の低い木に光が届かず、ほとんど竹しか生えない土地になり、本来の植生が失われ、里山に生息する生物が生きられない危機的状況になってしまいます。



11月26日、セキスイハイム近畿グループによるCSR活動が実施されました

セキスイハイム近畿グループ社員・内定者の29人が、本地区で里山保全活動をしている「鹿背山倶楽部」と「NPO法人京都発・竹・流域環境ネット」の指導のもと、森林保全活動を体験されました。

同グループによるCSR活動は、「セキスイハイムの森・木津川」として取り組まれ、竹伐採をはじめ、伐採竹のチップ化作業、階段やベンチ・テーブルづくりなどをされ、初冬の里山で心地よい汗を流されました。



里山へGO！（里山活動に参加してみよう）

鹿背山で活動する団体の里山活動を体験してみたい方は、気軽に都市計画課に連絡ください。

都市計画課 ☎75-1222 fax72-8382 ✉tokei@city.kizugawa.lg.jp